金沢大学
バーチャルキャンパス

Quest 3 版
操作マニュアル

2026 年 10 月 19 日 改訂版

Quest 3 版のログイン、基本操作、画面の使い方、チャット、音声、設定と困ったときの対処を説明します。アプリをインストール済みの方が、操作を確認するときに使用してください。

導入・更新・削除は、別冊の Quest 3 版 インストールマニュアル を参照してください。

目次

1　Quest 3 の基本操作

2　起動からキャンパスに入るまで

3　体験画面を使う

4　テキストチャット

5　ボイスチャットとマイク

6　設定を調整する

7　更新と体験の終了

8　困ったとき

1　Quest 3 の基本操作

Quest 3 本体と左右のコントローラを使います。人差し指で押す前側のボタンが「トリガー」、中指で握る側面のボタンが「グリップ」です。移動と走行は左手、視点回転とジャンプは右手で操作します。

入室後のコントローラ操作

手・操作部	操作
左スティックを倒す	前後左右へ移動。離すと停止
左グリップを握りながら左スティックを倒す	走る。グリップを離すと歩行に戻る
左スティックを押し込む	スナップターン / 連続回転を切り替える
左 X ボタン	1 人称 / 3 人称視点を切り替える
左 Y ボタン	操作説明を開く / 閉じる
左トリガー	レーザーが指している画面のボタンを選ぶ
右スティックを左右に倒す	視点を左右に回転
右 A ボタン	地面に立っているときにジャンプ。画面の選択状態によっては決定
右 B ボタン	情報表示を切り替える。もう一度押すと表示を戻す
右トリガー	レーザーが指している画面のボタンを選ぶ
頭を動かす	周囲を見回す
右コントローラの Meta ボタンを長押し	正面をリセット。正面にしたい方向を向いて行う

走行は **左グリップ** です。左右のトリガーは画面の選択に使います。画面の操作ではレーザーの先端を対象に合わせ、トリガーを押してください。アイコンにレーザーを合わせると、そのアイコンの説明が表示されます。

右 B で情報表示を隠すと、景色を見やすくするため各種表示も隠れます。ボタンやミニマップが見えなくなった場合は、右 B をもう一度押すか、残っている情報アイコンを選びます。

視点・移動モードを変える

初期視点は 1 人称です。左 X または視点切替アイコンで 3 人称にすると、自分のアバターを後ろから見る視点になります。3 人称でも頭で見回せ、右スティックでアバターの周囲を回り込むように視点を変えられます。左 X をもう一度押すと 1 人称に戻ります。

画面の移動モード切替アイコンを選ぶと、通常 / 高速モードを切り替えられます。高速モードでは歩行・走行・ジャンプが強くなります。

回転方式は次の 2 種類です。左スティックを押し込むと切り替わり、左コントローラが短く振動します。「設定」→「操作」→「VR コンフォート」の「スナップターン」でも同じ設定を変更できます。

回転方式	右スティックの動作
連続回転	左右に倒している間、滑らかに回転。初期設定はこちら
スナップターン	左右に倒すと 45 度ずつ回転。続けて回転するときはいったんスティックを中央へ戻す

アバター選択と文字入力

アバター選択画面では、左スティックの左右で候補を切り替えます。名前の入力欄をレーザーで選ぶと、Quest のキーボードが開きます。表示名を入力してから、左 X、左トリガー、または画面の決定ボタンで確定します。この画面の左 X はアバターの決定に使います。

チャット入力欄もレーザーとトリガーで選びます。キーボードの「完了」は文字入力を終える操作です。送信するときは、内容と送信先を確認してアプリの送信ボタンを選んでください。Quest メニューを開いたりヘッドセットを外したりしてキーボードが閉じた場合は、戻ってから入力欄をもう一度選びます。

操作説明と正面リセット

左 Y で画面全体の操作説明を開けます。コントローラごとの操作を確かめたいときは、いったん移動を止め、コントローラを顔の前で見やすい距離に持ってきて少し静止します。ボタンに対応した吹き出しが表示されます。歩行中や操作説明パネルを開いている間は、吹き出しは隠れます。

画面が横へずれたときは、正面にしたい方向を向き、右コントローラの Meta ボタンを長押しします。正面リセットに合わせてアプリの画面も置き直されます。

Quest 3 の設定

「設定」→「パフォーマンス」の初期プリセットは「VR 標準」です。選べるプリセットは「VR 標準」「軽量」「最軽量」「カスタム」です。動作が重いときは軽いプリセットへ切り替えます。

Quest では「VR 標準」より負荷の高い設定にはできません。同時表示するアバターは最大 10 人で、「軽量」は 8 人、「最軽量」は 6 人が基準です。これは画面に描くアバター数の設定であり、参加可能な人数の上限ではありません。

画面解像度・視野角はヘッドセット側で決まり、フレームレートはヘッドセットの表示更新に同期します。アプリの「描画スケール」で画質と負荷を調整できます。頭の動きに追従する視点は、PC 用のカメラ感度で変更するものではありません。回転の感覚を変えるときは、連続回転 / スナップターンを切り替えてください。

マイクと音声出力は Quest の既定デバイスを使います。ボイスチャットの前にマイクの利用を許可し、マイクテストと音量を確認してください。

2　起動からキャンパスに入るまで

画面のボタンは、コントローラーのポインターを合わせてトリガーを押すと選べます。

利用できる機能やボタンは、配布版と授業・イベントの設定によって異なります。

ログインする

1. アプリを起動します。「学習活動データの記録について」が表示された場合は、内容を読んで「確認しました」を選びます。
2. ログイン画面の「ログイン(ブラウザで認証)」を選びます。
3. 開いた認証画面で大学の認証を完了します。認証後にアプリへ戻り、次の画面が表示されるまで待ちます。
4. 自動で戻らない場合は、認証が完了していることを確認してからアプリへ切り替えます。認証を中断した場合は、ログイン画面からやり直します。

「学習活動データの記録について」では、活動の記録内容、閲覧できる人、問い合わせ先などを確認できます。「設定」→「画面」に告知の表示項目がある場合、次回起動時の表示を変更できます。告知を非表示にする設定は、活動データの記録を停止する操作ではありません。

体験版を使う

認証なしで操作を試す場合は「体験版(3 分間)」を選びます。追加データの案内が出た場合は次の手順で取得を終え、タイトル画面で「一人で体験」を選びます。体験版では「複数人で体験」を選べません。移動、ワープ、アバター選択、季節切替などを試せますが、他の参加者とのチャットや通話は利用できません。

体験中は残り時間が表示され、3 分の体験時間が終わると終了予告の後にログイン画面へ戻ります。一人で体験する場合も、キャンパスの追加データの取得には通信が必要です。

キャンパスと追加データを確認する

1. 「追加データのダウンロード」が表示された場合は、キャンパス名とダウンロードサイズを確認します。通信が安定した Wi-Fi 環境で「今すぐダウンロード」を選びます。
2. 進捗表示が完了するまで待ちます。必要なデータが保存済みの場合、ダウンロードの確認は表示されません。
3. 失敗した場合は通信状態を確認し、「再試行」を選びます。「ログイン画面へ戻る」を選ぶと、キャンパスには入らずログイン画面へ戻ります。

追加データの取得とアプリ本体のアップデートは別の操作です。追加データを取得した後も、タイトル画面でアプリ本体の更新を案内されることがあります。

体験方法とルームを選ぶ

ボタン・画面	操作
複数人で体験	サーバーに接続して、他の参加者と交流します。
一人で体験	自分だけでキャンパスを見学します。他の参加者とのチャット・通話は利用できません。
ルームを選択	表示された場合は、参加するルームを選びます。満員のルームは選択できません。授業・イベントで指定されたルームを使用してください。
設定	画質、音量、マイク、表示、操作を調整します。
ログイン画面に戻る	ログインからやり直すときに選びます。

「サーバーへ接続中」と表示されている間は、接続が完了するまで待ちます。接続先が見つからない場合や更新が必要な場合は、表示された案内に従ってください。

アバターと表示名を決める

1. アバターの読み込みが終わるまで待ちます。
2. 表示名の入力欄を確認します。認証した名前があらかじめ入る場合があります。変更が許可されている場合は、参加者に見せる名前を入力します。
3. 左右の切替ボタンでアバターを選びます。

4. 「選択」を押してキャンパスに入ります。名前が空欄で選択できない場合は、表示名を入力してください。

体験中も「アバター変更」から見た目や表示名を変更できます。変更後は「選択」で体験画面へ戻ります。変更機能が表示されない場合は、その配布版では変更が制限されています。

3　体験画面を使う

主な表示とボタン

表示・ボタン	使い方
季節・年代表示	現在の季節や、再現されているキャンパスの年代を確認します。
アバター名・端末バッジ	参加者の表示名と利用端末の種類を確認します。表示は「設定」→「画面」で変更できます。
ミニマップ	自分の位置、周辺の建物、参加者や NPC の位置を確認します。
ワープ一覧	建物名を選び、その建物付近へ移動します。
開始位置に戻る	道に迷ったときなどに体験開始位置へ戻ります。
視点切替	対応する端末で一人称・三人称を切り替えます。端末別の操作説明も参照してください。
アバター変更	アバター選択画面を開きます。
音楽の切替	BGM の再生・停止を切り替えます。音量は設定画面で調整します。
チャット	テキストチャットを開きます。画面下の新着表示からも開けます。
対象	ボイスチャットの送話先を選ぶ画面を開きます。
参加者一覧	一覧が利用できる場合、参加者名、マイクの ON/OFF、発話状態、送話先を確認できます。
？／操作説明	端末に対応した操作方法を確認します。
タイトルに戻る	現在の体験から退出してタイトル画面へ戻ります。

文字の入力欄を選択している間や設定画面を開いている間は、移動などの操作が止まる場合があります。移動に戻るときは入力を終え、開いている画面を閉じてください。

ミニマップとワープ

ミニマップの拡大・縮小で表示サイズを変えられます。「名前表示／名前非表示」は人物の名前、「建物名表示／建物名非表示」は建物の名前の表示を切り替えます。参加者と NPC は位置を示すアイコンで表示されます。

ワープ一覧の建物名、またはワープ先が設定されているミニマップの建物名を選ぶと、その場所の近くへ移動します。選択できない場所にはワープできません。移動時に「Loading…」などの読み込み表示が出た場合は、表示が消えるまで待ちます。

季節を切り替える

季節アイコンを選ぶと、春→夏→秋→冬→春の順で切り替わります。樹木や空、雪などの見え方が変わります。続けて切り替える場合は少し間を空けてください。複数人で体験しているときは季節の変更が他の参加者にも反映されるため、授業・イベントの案内に従って操作してください。

4　テキストチャット

パネルから送信する

1. チャットボタン、または画面下の新着メッセージ表示を選び、チャットパネルを開きます。
2. 「全体」「グループ」「個人」から送信先を選びます。グループ・個人では、さらに会話を選びます。
3. 画面上部の会話名や送信先を確認します。
4. メッセージを入力して「送信」を選びます。物理キーボードでは Enter でも送信できます。

自分が送ったメッセージは右側、相手のメッセージは左側に表示されます。履歴がある場合は上へスクロールすると以前のメッセージを確認できます。未読の会話にはバッジが付き、既読表示が有効な環境では「既読」や既読人数も表示されます。

画面のキーボードを閉じただけでは、メッセージは送信されません。下書きは入力欄に残ります。確実に送るには、宛先を確認して「送信」を選んでください。

送信先の範囲

送信先	届く相手
ルーム全体／ルーム	同じワールドの参加者。人数分散で別の接続先になっている参加者も含みます。

送信先	届く相手
ルーム跨いだ全体／サーバ全体	このアプリ内の別ワールドを含む参加者。運用で有効な場合に表示されます。
全メタバース	連携するアプリ全体への管理者のお知らせ。一般参加者は受信・閲覧用です。
グループ	選択したグループのメンバー。
個人	選択した相手との会話。

表示される全体チャットの範囲は運用設定によって変わります。別の範囲へ切り替えた後は、送信前に宛先を再確認してください。

画面下から手早く送信する

画面下に簡易入力欄が表示されている場合は、パネルを開かずに送信できます。入力欄を選び、宛先表示を確認して文章を入力し、送信ボタンまたは物理キーボードの Enter で送ります。

宛先候補が使える場合は、入力欄に / を入力して候補を開きます。

入力	選べる宛先
/a	全体チャットの範囲
/g	参加しているグループ
/i	個人の会話・相手（/t、/w も使用可能）

候補から宛先を選んだ後に本文を入力します。候補が開いている間の物理キーボードの Enter は、宛先の確定に使われます。宛先コマンドだけでは本文は送信されません。

個人の会話を始める

1. 「個人」タブで「+ 新しい会話をはじめる」を選びます。
2. 名前で検索して相手を選びます。
3. 会話が開いたらメッセージを送ります。すでに会話がある相手は一覧から選べます。
4. 「DM 依頼を送信しました」と表示された場合は、相手の承諾を待ちます。依頼を受けた側は「招待一覧」で内容を確認し、承諾または辞退を選びます。

相手が検索結果に出ない場合は、同じ利用環境にログインしているか確認してください。検索できる範囲や承認の要否は運用設定によって異なります。

グループを使う

1.「グループ」タブで「+ グループを作成」を選びます。

2. グループ名を入力して「作成」を選びます。

3. グループの会話画面で「招待」を選び、相手を検索して招待します。

4. 招待された人は「招待一覧」で承諾すると参加できます。

管理が許可された人には「名前変更」「削除」「メンバー」などのボタンが表示されます。削除やメンバーの除外は確認画面の対象を確認してから実行してください。

表示される操作	意味
退出	グループから退出します。以降の新しいメッセージを受信しなくなります。
非表示	授業などで用意された継続利用のグループを一時的に隠します。非表示中は新しいメッセージを受信しません。
再参加	非表示にした継続利用のグループへ戻ります。

グループ作成が許可されていない環境では、用意されたグループを選んで利用します。会話やグループの保存期間は運用によって異なります。退出やグループ削除をしても、管理上の記録がすべて消えるとは限りません。

取り消し・送信失敗・ブロック

自分の送信済みメッセージに取り消しボタンがある場合、そのボタンで本文の表示を「メッセージの送信を取り消しました」に変更できます。送信に失敗したメッセージは、通信が戻ったことを確認して再送します。送信状態が確定していない間に同じ文章を何度も送らないようにしてください。

迷惑なメッセージを受けた場合は「ブロック一覧」→「+ ブロック追加」から相手を検索し、確認画面で「ブロックする」を選びます。以降その相手のメッセージが表示されなくなり、個人チャットもできなくなります。解除する場合は「ブロック一覧」で対象を選び、「解除する」を選びます。迷惑行為の報告には「設定」→「サポート」を使えます。

5　ボイスチャットとマイク

話す前の準備

1. 端末のマイク権限を許可します。ヘッドセットやイヤホンマイクを使う場合は接続を確認します。

2.「設定」→「マイク」で入力デバイスと「入力レベル」を確認します。声を出したときにメーターが動くことを確かめます。

3. 「設定」→「音量」で「ボイス」を調整します。これは相手の声の大きさで、自分のマイク感度とは別です。

4. 設定を保存し、体験画面の「対象」から話しかける範囲や相手を選びます。

入室直後はマイクが OFF の場合があります。話し始める前に、マイクの状態と送話先を確認してください。ボイスのパネルを閉じるだけでは送話は止まりません。

送話先を選ぶ

送話先	使い方
範囲	近くの参加者と話します。範囲表示が出る場合は、声が届く距離の目安にできます。
全体／ルーム全体	同じワールドの参加者へ話します。
アプリ全体／ルーム跨いだ全体	アプリ内の別ワールドにも話します。有効な環境でだけ選べます。
全メタバース	管理者による全体放送です。一般参加者には送話用のボタンは表示されません。
グループ・個人の「通話」	一覧で選んだグループまたは個人へ話します。テキストチャットと同じ会話を使用します。

自分の声を送る宛先は一つです。別の宛先を選ぶと切り替わります。選択後はパネルが閉じます。再度「対象」を開くと現在の送話先を確認できます。

個人・グループの通話中も、ルームや有効な全体放送など、ほかの範囲の声が聞こえる場合があります。「聞こえる範囲」と「自分が話す宛先」は同じとは限りません。聴取の切替が表示される環境では、その項目で聞く範囲を調整できます。

個人・グループの「終了」は、その相手への送話を終えて「全体」へ送話先を戻す操作です。マイク自体を止めたいときは送話 OFF／マイク OFF の操作を行い、OFF 表示を確認してください。

会話が一覧に見つからない場合は、先に個人の会話またはグループを作成・参加し、ボイス画面を開き直すか一覧を更新します。

マイクテストと声の変換

1. 「設定」→「マイク」で感度、ノイズ抑制、エコーキャンセルを調整します。

2. ボイスチェンジャーを使う場合は「声の種類」と「処理モード」を選びます。

3. 「録音時間」を選び、「〇秒録音」を押して試しに話します。

4.「そのまま再生」で元の声、「変換後を再生」で変換した声を確認します。

5.「適用して閉じる」で保存します。

テスト録音の再生は、聞こえ方を確認するための操作です。発言を止めて試したい場合は、先にボイスチャットの送話を OFF にしてください。表示名や声の変換を使っても、利用者の認証情報や活動記録が匿名化されるわけではありません。

6　設定を調整する

設定はタイトル画面、または体験画面の「設定」から開きます。変更を残すには「適用して閉じる」を選びます。× で閉じたときに「変更した設定を破棄して閉じますか？」と表示された場合、「はい」を選ぶと開く前の設定に戻ります。

設定項目の目安

タブ・項目	内容と調整の目安
パフォーマンス：画質プリセット	「VR 標準」を基準にします。動作が重い場合は軽量・最軽量へ下げます。
画面解像度	端末側で決まります。アプリでは描画スケールを調整します。
描画スケール	低くすると負荷を抑えられますが、文字や遠景が粗くなります。
影・描画距離・画面効果	重い場合は品質や距離を下げます。遠くの建物や影が簡略化されることがあります。
FPS 上限・VSync	表示される端末で描画回数や画面の横ずれを調整します。通常は初期設定を使用してください。
アンチエイリアス・テクスチャ品質	輪郭の滑らかさや画像の細かさです。高くすると負荷が増えます。
スキンウェイト・ピクセルライト数	アバターの変形や照明の品質です。多人数で動作が重い場合に下げます。
同時表示アバター数	人数を下げると描画負荷を抑えられます。遠い参加者などが画面に表示されなくなる場合があります。
HDR・距離フォッグ	光の表現や遠景のかすみを調整します。端末によって固定・非表示の項目があります。

タブ・項目	内容と調整の目安
音量	マスター、BGM、効果音、ボイスを個別に調整します。マスターが 0% では音が聞こえません。
出力デバイス	端末側の出力先を確認します。
マイク：感度	OS 既定のマイクを使用します。入力の大きさを調整します。
ノイズ抑制・エコーキャンセル	雑音やスピーカー音の回り込みを抑えます。強すぎて声が不自然な場合は設定を下げてテストします。
画面：明るさ	見やすさを調整します。視野角はヘッドセット側で決まります。
画面：名前・端末バッジ・データ記録の告知	参加者名や端末種別、起動時の告知表示を切り替えます。
操作：スナップターン	向きを一定角度ずつ変える設定です。本書の「Quest 3 の基本操作」も確認してください。
サポート	通報、不具合報告、要望の問い合わせフォームを開きます。

画質の個別項目を変更するとプリセットは「カスタム」になります。プリセットを選び直すと、そのプリセットの値に置き換わります。

Quest 3 は「VR 標準」より重い設定にはできず、FPS 上限や HDR なども固定されます。表示されている範囲で調整してください。

設定を戻すには「このタブを初期値に戻す」または「すべての設定を初期値に戻す」を選び、確認画面に従います。サポートタブには設定値のリセットはありません。

7　更新と体験の終了

更新の案内が出たとき

「アップデートが必要です」と表示された場合は、アプリを更新してから複数人で体験してください。「後で」を選んでも、必要な更新を終えるまで複数人での体験は利用できません。「新しいバージョンがあります」は更新を推奨する案内です。

更新方法は端末と配布方法によって異なります。画面の「今すぐアップデート」「アップデート」「ダウンロードページを開く」、またはストアの案内に従ってください。利用端末に対応する別冊のインストールマニュアルも参照してください。

退出する

体験を終える場合は「タイトルに戻る」を選びます。ログインし直す場合はタイトル画面の「ログイン画面に戻る」を選びます。アプリを終了する場合は、表示されている「アプリ終了」または端末の終了操作を使用します。

8　困ったとき

症状	確認すること
ログインできない	通信接続を確認します。認証画面で認証を完了したか確認し、中断・失敗の場合はアプリのログイン画面からやり直します。
追加データを取得できない	通信と端末の空き容量を確認し「再試行」を選びます。後で行う場合は「ログイン画面へ戻る」を選びます。
「複数人で体験」を選べない	体験版で入っていないか、必須アップデートの案内がないかを確認します。授業・イベント側で利用が制限される場合もあります。
「サーバーが応答しません」と表示される	アプリが最新版か確認し、少し時間を置いて接続し直します。表示されたエラー番号も記録してください。
「再接続しています」と表示される	アプリが自動で接続を試しています。通信状態を確認して待ちます。失敗の案内が出た場合は時間を置いて入り直します。
キャラクターが動かない	入力欄・設定・メニューを閉じます。本書の「Quest 3 の基本操作」を確認します。
アバターが同じ姿になる・表示が遅い	アバターの読み込みを待ちます。改善しない場合は通信を確認して入り直します。
画面が重い・遠くの参加者が見えない	パフォーマンスの画質プリセットと同時表示アバター数を確認します。表示人数を制限している場合は参加者が省略されます。
音が聞こえない	アプリと端末の音量、ミュート、出力先を確認します。通話では「ボイス」音量も確認します。
自分の声が届かない	マイク権限、入力レベル、送話 ON/OFF、送話先を確認します。範囲通話では相手に近づきます。
意図しない相手に声が届く	「対象」で送話先を確認します。個人・グループの「終了」後は全体へ戻るため、話さないときはマイクを OFF にします。

症状	確認すること
チャット履歴が空・送信できない	接続復帰を待ち、会話を開き直します。宛先と送信失敗表示を確認し、失敗したメッセージは再送します。
ゲームパッド・コントローラーが反応しない	接続と電池残量を確認します。再接続後も改善しない場合は、アプリを終了して起動し直します。

通報・問い合わせ

「設定」→「サポート」→「問い合わせフォームを開く」を選びます。ブラウザが開いたら、「お問い合わせ項目」で「DX」を選び、発生日時、利用端末、アプリのバージョン、表示されたエラーと操作内容を記入します。迷惑行為の通報では、相手の表示名と状況も記入してください。パスワードなどの認証情報は記入しないでください。